

今定例会では次のことが決まりました

- 専決処分 ..... 1件承認
- 平成30年度補正予算 ..... 10件可決
- 平成31年度予算 ..... 10件可決
- 条例に関する議案 ..... 21件可決
- 人事案件 ..... 6件同意
- その他市長提出議案 ..... 4件可決
- 議員派遣 ..... 1件可決

この中から、議案をピックアップし、ご紹介します。

## 平成31年 第1回 定例会の概要

【会期 2月27日～3月26日(28日間)】

### 副議長 就任あいさつ



副議長 浜口 恭行

このたび、平成31年第1回定例会におきまして、三豊市議会副議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その責任の重大さを痛感しています。もとより微力ではございますが、議会の果たすべき役割を十分認識し、本市のさまざまな課題の解決に最善の努力を尽くし、本市の発展と市民福祉の向上に、誠心誠意取り組む所存であります。

私自身まだ若輩議員ではありませんが、これまで諸先輩方が積み重ねてこられた議会の若し次世代の議員とを繋ぐ役割を担い、市議会が市民の安心と信頼の上に成り立ちますよう、努力を重ねていきたいと思っております。今後ともご支援ご協力の程、お願い申し上げます。

### 議案 Pick Up

#### 市就学前教育・保育 検討委員会を設置

議案第24号

三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例の制定について

市就学前の教育及び保育のあり方等について調査研究することを目的に、三豊市就学前教育・保育検討委員会を設置するため、条例の制定を提案されたもの。

この条例の制定に伴い、三豊市保育所運営計画策定委員会の設置条例を廃止し、三豊市特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例を一部改正するもの。

可決

可決

### 平成30年度補正予算

補正

○一般会計	422,222千円 減	34,108,592千円
○特別会計		
国民健康保険事業特別会計	29,878千円 増	8,098,816千円
国民健康保険診療所事業特別会計	2,555千円 減	159,488千円
後期高齢者医療事業特別会計	10,550千円 減	1,022,725千円
介護保険事業特別会計	31,774千円 減	8,217,428千円
介護サービス事業特別会計	2,916千円 減	90,483千円
集落排水事業特別会計	2,145千円 減	193,478千円
浄化槽整備推進事業特別会計	646千円 減	224,278千円
港湾整備事業特別会計	345千円 増	21,207千円
○企業会計		
病院事業会計	73,215千円 減	1,759,630千円

議案 Pick Up

議案第32号

三豊市父母ヶ浜  
海水浴場施設条例の  
一部改正について

父母ヶ浜海水浴場施設について、利用者用の駐車場等を新たに整備したため、また、それに伴い利用料金の見直しを行うため、条例の一部改正を提案されたもの。



人事案件 (敬称略)

○農業委員会委員の任命について

- |       |       |
|-------|-------|
| 松岡 幸信 | 黒木 昭則 |
| 宮崎 和代 | 細川 耕助 |
| 貞廣 駿  | 石井 宏昭 |
| 正田 茂義 | 橋川 義信 |
| 白川 智樹 | 大西 弘  |
| 岡根 讓  | 片山 雅夫 |
| 新延 健  | 田所 上奉 |
| 三好 康芳 | 田井三代子 |
| 金子 芳巳 | 石原 剛  |
| 吉田 由紀 | 西山 正一 |
| 大崎 正義 | 堀江 博  |
| 森 尚行  |       |
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- |       |       |
|-------|-------|
| 小野 恭平 | 新井 富夫 |
| 大平 由美 | 林 秀昭  |
| 渡邊 省二 |       |

意見交換会

教育民生常任委員会と詫間小学校関係者・特別支援教育支援員



特別支援教育について

市内小中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒は過去6年間で1・7倍に、また発達障害児は3倍に増加している。この状況を踏まえ、平成31年1月29日詫間小学校の特別支援学級を視察し、学校関係者・特別支援教育支援員らと意見交換を行った。

その中で以下の課題等が浮かび上がった。特別支援教育支援員には高い専門性が求められることから、支援員育成のスキルアップを図ることや、子ども一人一人の障害の状況やニーズに合った支援の充実が求められること。また子どもの成長・発達には、早期発見・早期対応が大切だが、保護者等が子どもの障がいや困難を認めづらいことから、支援学級への同意を得るのが難しいという課題がある。

詫間小学校では早い時期から、保護者等に個別指導など働きかけを行い、理解促進に成果を上げていて、取り組みが注目される。この経験から支援員らが、早期発見・早期対応に結び付く研修等を定期的・継続的に行い、保護者への理解促進の働きかけに力を入れることが重要である。

今後課題を解決するために、議会として何ができるか、引き続き調査研究していくこととなった。

平成31年第1回(3月)定例会 審議結果

■全会一致の議案

議案名等	議決結果
専決処分の承認を求めることについて(平成30年度一般会計補正予算(第7号))	原案承認
平成30年度一般会計補正予算(第8号)	原案可決
平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
平成30年度国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
平成30年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
平成30年度介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
平成30年度介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
平成30年度集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
平成30年度浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
平成30年度港湾整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
平成30年度病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
行政不服審査関係手数料条例の制定について	原案可決
父母ヶ浜海水浴場施設管理基金条例の制定について	原案可決
就学前教育・保育検討委員会設置条例の制定について	原案可決

◀次ページに続きます。

## 平成31年第1回(3月)定例会 審議結果

### ■全会一致の議案

議案名等	議決結果
組織機構改革に伴う関係条例の整備について	原案可決
市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
臨時的任用職員等の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決
自動車駐車場条例の一部改正について	原案可決
企業立地促進条例の一部改正について	原案可決
産地形成促進施設条例の一部改正について	原案可決
父母ヶ浜海水浴場施設条例の一部改正について	原案可決
国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
指定地域密着型サービス等事業の人員、設備及び運営等の基準等に関する条例の一部改正について	原案可決
地域子育て支援センター条例の一部改正について	原案可決
都市公園条例の一部改正について	原案可決
市営住宅入居者選考委員会条例の一部改正について	原案可決
豊中町地域づくり推進基金条例の廃止について	原案可決
仁尾町ふる里創生基金条例の廃止について	原案可決
仁尾町観光振興事業基金条例の廃止について	原案可決
山本町地域振興基金条例の廃止について	原案可決
工事請負契約の締結について	原案可決
指定管理者の指定について（詫間町松崎コミュニティセンター）	原案可決
指定管理者の指定について（詫間町箱浦ビクターハウス）	原案可決
市道の路線廃止及び路線認定について	原案可決
農業委員会委員の任命について	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について（小野恭平）	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について（新井富夫）	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について（大平由美）	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について（林 秀昭）	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について（渡邊省二）	原案同意
議員派遣について	可決

### ■賛否が分かれた議案

議案名等	議員名																						議決結果
	1 近藤 武	2 高木 修	3 湯口 新	4 田中 達也	5 浜口 恭行	6 三木 秀樹	7 西山 彰人	8 水本 真奈美	9 込山 文吉	10 市川 洋介	11 石井 勢三	12 丸戸 研一	13 岩田 秀樹	14 金子 辰男	15 詫間 政司	16 瀧本 文字	17 三宅 静雄	18 坂口 晃一	19 川北 善伴	20 城中 利文	21 為瓜 員史	22 横山 強	
平成31年度一般会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛18、反2)
平成31年度 国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛19、反1)
平成31年度 国民健康保険診療所事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反0)
平成31年度 後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛19、反1)
平成31年度 介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反0)
平成31年度 介護サービス事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反0)
平成31年度 集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反0)
平成31年度 浄化槽整備推進事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反0)
平成31年度 港湾整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反0)
平成31年度病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反0)
森林経営管理基金条例の制定について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反1)
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部 改正について	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛19、反2)

※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥  
 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長 15番 詫間 政司）

# 予算特別委員会審査



## 予算特別委員会審査

3月12・13・14・18・20日開催の予算特別委員会には31年度一般会計予算等10議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 一般会計予算

##### 総務費

**問** 定住促進事業の東京圏、U・Jターン補助金はなぜ23区限定なのか。

**答** 2018年改訂された国の総合戦略の中で、取り組みとして提示された事業である。国・県・市が一緒に取り組んでいく。

**問** 全国家計構造調査とはどのような調査なのか、項目は決まっているか。

**答** 全国の世帯を対象に調査を行う県の依頼により調査員を派遣する。調査対象としては、学生の単身世帯、病院療養所の入院者、住み込み使用人、4人以上世帯、世帯主長期不在世帯、外国人世帯等を調査する。

**問** 公共施設再配置事業で、財田中小学校跡地土地購入費があるが、面積と購入理由、今後の予定を聞く。

**答** 旧財田中小学校敷地面積約1.5ha中、半分の5,000㎡が借地である。跡地利用については、地域の合意に基づき、地域振興に使用していく。

**問** 先端技術導入事業に、地方創生推進交付金はどれくらいあるのか。

**答** A-1に関する事業に地方創生推進交付金500万円を充てる予定である。

**問** 総合政策アドバイザーの人数・経歴を聞く。

**答** 東京大学大学院の松尾教授、本市出身でトヨタ自動車所属の日野自動車商業CASE事業部の石井直己氏、映画脚本家の黒沢久子氏の3人をお願いしている。また、観光部門でも1人に依頼することを検討している。

**問** 地域内分権推進事業で、まちづくり推進隊への新しい公共の担い手の育成を図るとの説明だが、将来的な見通しについて聞く。

**答** 市民とのワークショップの中で拠点のあり方、拠点に必要な機能、その機能を誰が担っていくのか、議論しながら進めていきたい。

**問** 弥谷山ふれあいの森公園管理事業で、指定管理者の新たな指定に施設の

抜本改修は伴わないと理解している。施設内修繕箇所の洗い出し、次年度以降

の改修工事の設計予算について説明を求める。

**答** 25年経過による修繕のタイ

ミングがある。指定管理者の公募が優先であり公募した。施設を一旦洗い直し、見直す必要があり、全館の設備に対する調査を実施し、優先順位の高い修繕工事を実施していきたい。

**問** マイナンバーカードの交付事業発行状況を聞く。

**答** 2月末現在でカード交付枚数は7,544枚、11・32%となっている。申請数は8,729枚、13・1%で県内17市町村の中では交付枚数は1番



▲ふれあいパークの

目、申請数は3番目に位置している。

#### 農林水産業費

**問** 薬用作物研究・地域農産物の付加価値づくりと農業ICT等のスマート農業推進の説明を求める。

**答** 薬用作物については、推進機構との連携で、三豊市に合う作物の検証を1年間かけて行う。農作業の軽減等、ICTスマート農業を推進していく。多種多様な量が少ない農作物等に付加価値を付けた新たな商品開発をしていく。

#### 商工費

**問** 観光戦略業務デジタルマーケティングが新しく追加された。業務委託内容と、その業態について聞く。

**答** 人が動く際、情報源はインターネットから情報入手するという比率が非常に高まっている。デジタルマーケティングを活用して、関係人口の増加を目指しており、実際に人を誘客して、ターゲットに対してアプローチしていく、誘客による反応の調査をしていく。業態部分では、公募型のプログラムにより進める。

#### 教育費

**問** ICT整備事業は計画どおり各学校に来年度に間に合うように全整備されるのか。母国語教育について具体的に聞く。

**答** パソコン教室分は終わる。母国語教育は国語の読み取る力に課題がある。読解力を高めるためのみとよメソッドを導入し、課題克服に取り組み。

**問** 北部給食センターの方向づけとスケジュールについて聞く。

**答** 31年度用地について決定をさせ完成までの道筋を立てていきたい。

※ UJターン…Uターンは、地方から都市に移住した人が、再び故郷に戻る。Jターンは、都市部から出身地とは違う地方に移住して働くこと。Jターンは、故郷から都市部に移住したあと、故郷に近い地方都市に移住すること。

※ みとよメソッド…教師が用意した「見本答案」を生徒に採点してもらい、点数と採点理由をグループに持ち寄って議論してもらう方法論

市の予算は市議会でしっかりチェック!

## 税金の使い道が決まりました



市議会では、市長から提出された新年度の予算案について、本当に必要なお金なのかを、しっかり審査しています。

今年度は、将来に向けた第2次総合計画の重点プロジェクト、つまり「攻め」の施策への配分を重視し、中でも、AI、観光、農業、スポーツをテーマとして予算編成を行っています。また、より子どもを産み育てやすい環境を整えるとともに、災害対策やインフラ整備のほか、移住・定住施策などの重点施策事業にも必要な財源の配分に努めています。

31年度  
予算

原案  
可決

一般会計	329億7,000万円
特別会計(8会計)	179億5,400万円
企業会計(1会計)	21億6,897万7千円

### コミュニティバス運行事業



〔事業費〕 2億1,285万3千円  
合併特例債を活用し、計画的にコミュニティバス車両を更新する。

### 消防施設一般経費



〔事業費〕 2億222万4千円  
三豊市消防団再編計画等に基づき、屯所の建て替えや車両の更新、防火水槽の設置を行う。

## 平成31年度 主要重点施策

今年の主な事業を  
紹介します。

### 港整備交付金事業(港湾)



〔事業費〕 1億5,660万円  
粟島港の離島航路浮棧橋について、国庫補助事業を活用し更新整備を行う。

### 市道舗装整備事業



〔事業費〕 1億4,700万円  
合併特例債を活用して、市道の改良舗装工事を重点的に実施する。

### 山本地区就学前施設建設事業



〔事業費〕 6億4,568万円  
山本地区の就学前施設(新設統合幼稚園)の整備を行う。

### 定住促進事業



〔事業費〕 1億5,402万7千円  
最重要課題として位置づける人口減少問題への解決に向け、本市への移住・定住施策を行う。

### 先端技術導入推進事業



〔事業費〕 1,135万円  
東京大学大学院松尾研究室、香川高等専門学校との連携により、AIを活用した産業集積と人材育成を目的とした事業を行う。

### 三豊市緑ヶ丘総合運動公園管理運営事業



〔事業費〕 2億3,890万9千円  
サッカー場グラウンド改修工事、テニスコート撤去及び広場設置工事を行う。

### 子どものための教育・保育給付費(保育給付)



〔事業費〕 1億783万5千円  
国の交付金を活用して保育施設を整備する民間事業者に対して、施設整備費を交付する。

### 風しん予防対策事業



〔事業費〕 2,146万8千円  
風しんの感染拡大防止追加対策として、対象者への抗体検査及びワクチン予防接種を行う。

### 観光振興事業



〔事業費〕 1億1,530万円  
観光基本計画を刷新するとともに、デジタルマーケティングによる観光戦略を公民連携で進め、観光の産業化に取り組む。

### 農業振興一般管理事業



〔事業費〕 1,249万5千円  
農業振興計画の改訂を行うとともに、ICT化によるスマート農業の推進、生薬栽培の実証圃を展開する。

### 福祉タクシー・高齢者運転免許証自主返納支援事業



〔事業費〕 3,446万5千円  
高齢の交通弱者対策として運転免許証を所有していない70歳以上の方に福祉タクシー利用券を交付する。

### 母子保健事業



〔事業費〕 7,520万9千円  
子育て世代包括支援センターを新設し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制を充実する。

### スポーツ・文化芸術大会出場激励金



〔事業費〕 760万円  
スポーツ・文化芸術の向上、振興に寄与し、全国大会や国際大会に出場する個人・団体に奨励金を交付する。

### 学習ICT整備事業



〔事業費〕 2億8,251万8千円  
デジタル教科書を活用したICT教育を行うため、小中学校に機器等を整備する。

### 都市計画事業



〔事業費〕 2,700万9千円  
区域再編に関する計画書を作成し、立地適正化計画の策定に取り組む。

## 市民の会



丸戸研二 議員  
 城中利文 議員



### 主要事業への取り組み

**問** 観光をビジネスに仕立てる仕組みが必要ではないか。

**答** 急増する観光客に対し、飲食サービスや宿泊施設の不足は大きな課題となっている。しかし今、新たな仕組みの構築に挑戦する民間事業者が市内外から揃いつつある。事業者の求める事業環境を検証しながら支援してまいりたい。



▲米ニューヨークタイムズに掲載された紫雲出山の桜と瀬戸内の島々

**問** プロスポーツの試合や練習機会の誘致にどう取り組むのか。

**答** スポーツに親しみ、夢を描く子どもたちが、プロスポーツ選手の試合などを観戦し、自分たちの夢に向かって活動し、より専門的で高度な指導を受けることがかなうよう、対策を講じたい。

**問** 今や外国からの労働者は、我が国の経済を支える大きな存在である。市として外国人労働者の受け入れにどう取り組むのか。

**答** 市内企業の人手不足は深刻化している。このまま放置すれば市内の産業基盤が失われかねない状態であり、外国の方々に三豊市を選んでいただくよう、多文化共生のまちづくりに取り組む。

### 北部学校給食センター

**問** 北部学校給食センター用地として取得した市有地が永康病院建て替え用地となった。北部学校給食センター用地はなくなったわけだが、今後、どのようなタイムスケジュールで取り組むのか。

**答** 来年度から建設用地および整備運営手法などについて協議を行い、基本方針、基本計画など、具体的な計画を進めてまいりたい。

### 国道11号4車線化区域の延伸・拡大について

**問** 善通寺市から延伸し、鳥坂峠、三野町区域、高瀬町区域も4車線化区間として計画拡大すべきではないか。

**答** そのためには、まず都市計画区域を再編する必要がある。来年度から、区域再編に必要な基礎調査・分析を開始し、関係機関との調整、協議、法定手続きのための資料作成を2力年で行う予定である。



▲4車線化が望まれる国道11号の高瀬町区間

### 農業関連の災害対策

**問** 原材料支給事業は、近年建設物価も上昇傾向の中、消費税率も上がることから、次第

に事業効果が目減りしている。消費税率アップのタイミングで見直すべきでないか。

**答** 原材料支給事業については、消費税率が10%になり、材料費にも影響を及ぼすことが想定されるため、今後限度額の見直しを検討する。

**問** 市単独補助土地改良事業については、農業の採算性からして50%の補助率は農家にとって大きな負担である。単独県費補助土地改良事業と同程度の補助率に引き上げてはどうか。

**答** 市単独補助土地改良事業については、単独県費補助土地改良事業との整合性も考慮しながら、現在の補助率50%の見直しを検討する。

**問** 農地農業用施設災害復旧事業については、設計費が補助対象外となっており、被災農家にとっては大きな負担である。設計費に対する補助制度を創設できないか。

**答** 災害復旧事業に要する設計費補助については、普通災害については現在対応策がなく、災害申請を躊躇している申請者もいることから、査定設計の補助について検討する。

### 永康病院の整備について

**問** 整備事業費と財源を説明願いたい。

**答** 概算工事費は40億700万円であり、医療機器等の整備費が5億円程度である。財源は合併特別債と病院事業債で賄う予定である。

**問** 新永康病院の経営計画をどう樹立するのか。

**答** 二期連続の赤字と起債償還等を考慮すると相当厳しい。病院経営の根幹をなす医師確保には最大限の力を注いでいく。新年度から小児科の開設や、寄附講座等により医師確保に努め、独立採算の原則で経営計画を樹立する。



市長の政治姿勢について

**問** 第2次三豊市総合計画「One MIYOYO」の新しいまちづくりに取り組みにあたり、その政治姿勢と決意を聞く。

**答** 総合計画に掲げた人口6万3千500人プラスの高い目標に向け、市民一人一人が豊かさを実感できる未来を実現するために、スピード感をもって二豊のまちづくりを進めていきたい。

産業・観光振興について

**問** 観光の産業化への取り組みおよびデジタルマーケティングによる観光戦略とは。

**答** デジタル活用により市場ニーズの分析、情報収集を図り、関係人口の増加につなげたい。「観光基本計画」を刷新し、観光のワクにとられず移住や新ビジネス創出などさまざまな波及効果が期待できるよう取り組む。

パートナーシップ制度の導入

**問** LGBTの同性カップルをパートナーとして自治体が公認する制度だが、法的な夫婦でない場合に入居できない住宅物件やローンが組めない、遺族年金が相続できない等不都合が多々ある。本市が制度導入を掲げたことは画期的である。今後の取り組みについて伺う。

**答** 制度導入に向けて取り組んでいく。性的マイノリティーへの理解と認識が深まること

が期待される。今後、制度研究や当事者との意見交換等行う予定である。

多文化共生のまちづくり

**問** 入国管理法の改正等で外国人労働者や観光客が今後増大する。本市も898人が居住、急増している。外国人との共生をはかり、地域の活性化につながるものが大切である。外国人に対しても母子保健から災害、学校教育、自治会など生活全般の対応が求められる。特に言葉の問題では「迅速・正確・簡潔」に情報が伝えられる「やさしい日本語」を職員が習得すること。職員研修や多言語表記の案内板等の設置。多言語通訳ソフトを活用した医療現場等の対応も大切である。本市の取り組みについて伺う。

**答** 外国人理解への意識向上や総合的な支援窓口の体制を整備する。先進地を参考に通訳アプリの導入や人材育成を図っていく。

公共施設マネジメントについて

**問** 目的を終えた公共施設の処分について注目のされる「マイナス入札」を検討してはどうか。

**答** 処分する公共施設に、市税収入を期待するのか、それとも地域活性化または市の課題解消を期待するのか等、様々な手法を考慮して進めていきたい。



議会日誌

4月	3月	2月	1月
5日	6日	28日	29日
11日	13日	27日	28日
18日	20日	26日	27日
22日	22日	25日	26日
26日	26日	22日	25日
28日	28日	21日	24日
		20日	23日
		18日	22日
		14日	18日
		13日	17日
		12日	16日
		6日	11日
		5日	8日
			7日
			4日

2月 5日	岩手県宮古市議会	総務常任委員会
2月 6日	茨城県常陸大宮市議会	議会運営委員会
3月 27日	静岡県沼津市議会	会派 未来の風

※ LGBT…女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、生まれたときの法的・社会的性別とは違う性別で生きる人、生きたいと望む人の頭文字をとった単語  
 ※性的マイノリティー…性的少数者

## 社民党



三木秀樹  
議員



年齢を問わず生活困窮者17,000人以上居ることが、平成最後の「施政方針」に無い点を聞く

**問** 平成3年〜平成22年の「失われた20年間」に自民党政治より創られた新自由主義経済（すべて市場競争）の嵐は、全国で、三豊市でも自己責任論と共に吹き荒れた。異常な競争、異常な格差、働く者を保護していた規制の緩和等々の中で、大学生や若者就職難の大氷河期、15年間賃金は減り続け、14年間続いた毎年3万人以上の自殺者。低賃金で働く非正規社員が1,000万人以上増えた。地域での小売業の衰退、近隣との連帯や助け合う意識の希薄化が進む中で貧困化の影響は、多面的に現在も進行している。

市内で、15歳から39歳の働き盛りの若者の内、年収167万以下で働く人は、7,126人（平成28年、市の統計）、生活保護基準相当で生活している65歳以上の「下流老人」は、7,649人（住民税非課税の年金生活者、平成29年市調査）、権利破壊、競争の職場になじみず家に閉じ籠るひきこもり、ニート、当時流行ったフリーターを含めると市内に2,000人以上居ると言われる（市は調査無し、国・県の統計から推測）。こうした現状も、その対策も含め、平成の総合的な本年度の「施政方針」には無いが三豊市最大の問題をどう認識しているのか。

## 公明党



水本真奈美  
議員



にぎわいが地域を元気にするまち

**問** 観光産業化の取り組みとは。

**答** 観光交流人口の増加だけでなく、関係人口の創出拡大、産業化を推進するため、観光基本計画で方向性を明らかにし、外部人材の登用や事業者への支援施策の整備に取り組む。

**問** 観光振興のうえでトイレ環境は重要である。島しょ部のトイレ環境について。

**答** 島しょ部の公衆トイレは、洋式化できていないのが現状である。観光および交流促進を目的としたトイレの洋式化の必要性もある中、外国人を初め、人々に利用しやすいバリアフリートイレについて、特定財源の活用や費用対効果を見据えながら、検討していきたい。



▲観光客でにぎわう瀬戸内の島

**子どもが健やかに育ち、生涯笑顔で過ごせるまち**

**問** 子育て世代包括支援センターの支援体制、児童相談所や警察など関係機関の連携について。

## 桜の木



田中達也  
議員



紫雲出山の桜の維持について

**問** 重要な観光資源である紫雲出山の桜は、老朽化によるさまざまな問題が発生している。遺跡の国指定文化財認定により新たな制約が予想されるが、どのように維持していくのか。

**答** 桜の植樹には、地中を調査し、県教育委員会への許可を受ける必要がある。関係省庁と議論を重ねるとともに、中長期的な計画を立て、桜の維持に努める。



▲桜の木が折れ、ぽっかり空いたスペース

**外郭団体・交付金団体の自立に向けた収益事業への取り組みについて**

**問** 観光交流局、まちづくり推進隊等は、収益事業を積極的に行い、自立することが求められるが、委託・移譲業務による余力不足や、交付金を原資とした場合の収益金の精算方法など、改善すべき点がある。

**答** コミュニティビジネスと言われるような、公共性と収益性が両立するような事業へのチャレンジを目標とし、支援していく。収益事業での交付金の取り扱いについては、ルールの統一と認識の共有を図る。

**答** 生活困窮者自立支援制度等や高齢者福祉を含めた総合的福祉のあり方は、各施策が連携して包括的な支援が出来るよう努めている。

**問** そうした各施策は、自ら申し出る「申請主義」になっている。困窮していても高齢者は「風が悪い」「施しは受けたくない」と申請に抵抗感がある。民生委員等を増員して、調べないのか。

**答** 議員指摘のとおりと思うが、低所得で困窮している方々の実情を知った上での議論になる。議員指摘の40代～50代は、私の年代で、われわれが創った社会で子どもたちは育っていけない。非常に厳しい状況でも、それをわれわれが何とかしなければならぬ。次の世代に引き継いでいけぬ感覚は絶対的にもっている。施政方針にあるか、ないかではなく本当に行政マン、人間としての根本と考えている。

**問** 今は「風が悪い」とかで我慢されておられるが、抵抗感が薄まる40代～50代が一気に下流老人として生活保護を求められる時代は遠くない。実態調査を意識的に早めにしてほしい。



その他の質問

- 臨時職員の「働き」に本当に敬意があるのか
- 児童・生徒のネット依存症の調査の有無は
- 就学費支援で保育士、看護師の確保を
- タクシー券、障害1級者にも支給しないのか

**答** 母子保健の専門職員として保健師を配置し、妊娠期から高校卒業に至るまでの相談に応じ、母子保健、福祉、子育てサービスなどの情報提供を行う。医療機関や関係機関と連携、協力し、虐待や貧困、食育から生活環境まで、ワンストップで問題解決に当たり、一貫して子どもたちを守り育て、見守る組織づくりに取り組んでいきたい。(30年度支援プラン要策定ケースは延べ65件)

人と自然が守られる定住のまち

**問** 地域防災力の向上として①マイタイムラインの作成 ②液体ミルク備蓄 ③外国人旅行者への支援体制について。

**答** ①マイタイムラインとは災害に対し、家族構成や生活環境に応じて、誰が何をするのかを時系列で整理した自分自身の防災行動計画である。災害時の判断をサポートし、逃げおくれゼロにつながることを期待されるので出前講座や研修等で啓発活動を行うよう検討する。②液体ミルクが商品化した時点で、賞味期限を考慮し、備蓄に向け前向きに検討する。③観光交流局、国際交流委員の協力も得ながら、外国人旅行者への対応に努める。また、防災マップについては避難場所および凡例について、数カ国語の表記を検討する。

**問** 高齢化が著しい離島において安心して住み続けられるよう、通院に係る船賃助成について。

**答** 他市町の状況や離島活性化交付金事業の活用事例等の情報収集に努め、検討していきたい。

公共施設のマネジメントについて

**問** これまでの公共施設の再配置は、総論賛成・各論反対の中で、前向きに進んでいるとは思えない。市長の強力なリーダーシップで維持費削減を押し進める必要があるのでは。

**答** 各論で反対されたら、総論に立ち戻り議論を再開するなど、粘り強く進めたい。

Aーへの取り組みを軸にしたシティプロモーションについて

**問** 子どもたちの教育についても三者連携協力のなかで取り組むことで「先端技術に繋がる教育が受けられるまち」という切り口が加わり、定住促進につながるのでは。

**答** 小学生を対象としたプログラミング教室についても定期的開催し、興味を持ち深めて行きたいという子どもたちをさらに教育していく。

公共事業実施における、地元企業成長への配慮について

**問** 事業規模が大きい、あるいは先進的な事業は、同様の業務経験の有無が重視され、市外の大手企業に発注される。貴重な成長の機会なので、地元企業に知見と力を蓄積させる手法を検討するべきでは。

**答** 地域のことを地元企業と公民連携で進めることができれば、地元企業の育成につながる。公民連携、民間資金活用についてのノウハウの習得や情報交換を行う場としての地域のプラットフォームの形成も視野に入れて検討していきたい。

3月定例会では、3月7日、8日の2日間、12人の議員が一般質問を行いました。質問順に要旨を掲載します。原稿は質問者本人が書いています。

# 一般質問



西山彰人  
議員



## 保育料の無償化に伴う三豊市の状況について

**問** 保育料無償化の影響で、待機児童が増えるのではないかと、今後待機児童は増加すると予想している。

**答** 増築や改築をする場合に、三豊市の負担はどのようになっているか。

**問** 公立施設整備への助成を要望する。

**答** 保育料の無償化に伴う財源は国が出すのか、その保障はあるのか。

**問** 消費税増による地方交付税で一般財源化される予定。

**問** 市長会では何らかの意見が出されたと聞くが、三豊市の意見は。

**答** 待機児童対策の充実を国へも要望していく。

**問** 非正規労働者にも利用できる育児休業が充実していれば、待機児童は大幅に減ると思うが、どうか。

**答** われわれも同意見である。育児休暇制度の充実については、今後さまざまな機会を通して国への要望等を行う。

**問** アレルギー対策について、単独校方式のどこが悪いのか、保育所は非常に小さい規模で対策を行っている。

**答** 調理場の機器や設備は経年劣化により更新の時期を迎えている。

## 三豊市の学校給食の在り方について

**問** 市長は詫間支所の危険性を察知し、マリノウェーブに緊急移転するが、詫間で生活する住民の一人としてお礼を申し上げる。耐震が出来ていない庄内浦島出張所の対策はどのようなのか。

**答** 詫間支所移転の時期は本年の年末年始を予定している。庄内出張所については、公共施設再配置等総合管理計画の中で総合的に考える。

## 31年度施政方針より

**問** スポーツやイベント等の市民の自主的な活動についての協力は進んでいるのか。

**答** 市を盛り上げたいだけではない。協力は必要とする。協力を進めたい。

**問** 30年度の部局の組織の見直しについては、事業経験の浅い職員の見直しを行う際は、専門職の不足は、事業分掌の見直しを行った上で、現在の担当を中心に機能強化した、適材適所の職員配置を検討する。

**問** 国道11号線を豊中から鳥坂まで延伸する計画と、三野町と高瀬町を都市計画とする着手と延伸する時期を問う。

**答** 区域決定権者は香川県。三豊市も平成31年度〜令和2年度で基礎調査や都市計画マスタープランの改定、関係機関との協議調整、早急に区間再編に向けて取り組む。議員ご指摘のとおり、執行部は議会の協力をいただき、市と県が一体と



▲耐震工事が残る庄内浦島出張所



横山 強  
議員



## 機構・組織について

**問** 近年、頻繁な組織変革が、行政機能を衰退させた原因と、31年度も新規機構改革としているが、組織機能に伴う職員の配置は万全なのか。

**答** 30年度の部局の組織の見直しについては、事業経験の浅い職員の見直しを行う際は、専門職の不足は、事業分掌の見直しを行った上で、現在の担当を中心に機能強化した、適材適所の職員配置を検討する。

**問** 国道11号の4車線計画延伸について

**答** 国道11号線を豊中から鳥坂まで延伸する計画と、三野町と高瀬町を都市計画とする着手と延伸する時期を問う。

**問** 区域決定権者は香川県。三豊市も平成31年度〜令和2年度で基礎調査や都市計画マスタープランの改定、関係機関との協議調整、早急に区間再編に向けて取り組む。議員ご指摘のとおり、執行部は議会の協力をいただき、市と県が一体と

なって、これまで以上に、国への要望活動を積極的にしたい。



▲現在の国道11号線

## 浜街道4車線化計画の延伸について

**問** 今、浜街道4車線は詫間松崎で終点だが、今後、三豊市政として、延伸する計画はあるのか。

**答** 平成24年3月、三野町・詫間工区の4車線道路の供用開始で事業完了。しかし、現在、本市が詫間庁舎周辺のブランドデザインや臨海部の開発等により、将来に当該道路路線で多大な変化が起きることが想定される。議員ご指摘のとおり、地域活性化を担う重要路線であることとの認識を深め、社会情勢の変化や広域的な周辺エリアの開発状況に留意する。それらを見極め、状況変化の兆候が見られた場合には、現道拡幅による延伸、バイパス的な新規路線も視野に入れ、事業効果が最大限に発揮できるように対策を、県・国に対し積極的に、要望活動を実施していきたい。

平成24年3月、三野町・詫間工区の4車線道路の供用開始で事業完了。しかし、現在、本市が詫間庁舎周辺のブランドデザインや臨海部の開発等により、将来に当該道路路線で多大な変化が起きることが想定される。議員ご指摘のとおり、地域活性化を担う重要路線であることとの認識を深め、社会情勢の変化や広域的な周辺エリアの開発状況に留意する。それらを見極め、状況変化の兆候が見られた場合には、現道拡幅による延伸、バイパス的な新規路線も視野に入れ、事業効果が最大限に発揮できるように対策を、県・国に対し積極的に、要望活動を実施していきたい。



**市の職員として弁護士を採用を**

**問** 職員は、住民に対する丁寧で親切な対応を誇りとしている方が多く、さまざまな住民の要望に応えなければならず、誠実に対応する必要があるのは当然のことであるが、一線を越えた対応困難な要求・要望については、毅然とした対応が求められている。三豊市でも顧問弁護士があり、案件の度にスケジュール調整をして何回も事務所まで出かけている。これからの行政を顧問弁護士だけで十分に対応出来るのか。昨年何件ほどの相談を顧問弁護士にされたのか。市の職員や学校の教職員の方たちが安心して働ける職場の環境作り、現在職員の方で何かあって、訴えられた時に弁護士費用を払ってもらえる保険に入っている職員も少なくないと聞く。このままでよいのか。確かに弁護士を採用すると高額な人件費も必要かもしれないが、職員の方たちに安心して仕事に打ち込めるような環境作りの為、弁護士を職員として採用できないか。

**答**

三豊市では、昨年度の相談件数は17件である。全国では、2017年8月時点で105自治体150名が登用されており、香川県内では高松市が弁護士を採用している。今後は顧問弁護士に対する件数の推移や相談内容を見極めながら検討し、今後大きな課題として考えていく。

**その他の質問**

- 再犯防止対策について
- 保育施設入所・入園に関する選考基準について
- 中学校クラブ活動外部指導員について



▲好成績を収めている高瀬中学校クラブ活動



**三豊市観光地の今後の整備、計画について問う**

**問** 紫雲出山の花見シーズンは、交通渋滞となり地元の人にとって、大きな問題となっている。また、経済効果を高めるためには宿泊施設の誘致、新たな観光地の開発が必要と考えるが、今後の計画を問う。

**答** 紫雲出山の桜シーズンの対応としては、一般車両の入場を禁止し、大浜漁港から有料（往復400円）シャトルバスを運行する。バスは15台まで増やすほか、英語表示の案内板、国際ボランティアの配置等、観光交流局と力を合わせ、来訪者に楽しんでいただく



▲紫雲出山

くために取り組んでいく。企業立地促進条例の改正を上程しており、奨励金の上限を拡充し、宿泊事業の展開を行いやすい環境を整備していく。三豊市は、地域資源に恵まれており、\*ブラッシュアップを進めることで観光スポットになる可能性も秘めている。戦略的な手法を取り入れ、観光開発・誘客に努める。

**三豊市内の幼稚園、保育所の現状と今後の計画について**

**問** 保育所の定員オーバー、そして幼稚園の定員割れが、慢性化している。保育受入れ枠の拡大および保育人材の確保、待機児童解消、子ども園化も含め、幼稚園、保育所の今後の計画を問う。

**答** 三豊市待機児童ゼロ対策アクションプランに沿って、保育の受け入れ確保および保育人材の確保を緊急課題として取り組んでいく。また、就学前教育・保育検討委員会を設置し、学識経験者等専門家にも参画いただき、計画づくりを含め、検討を開始する予定。本年10月からの幼児教育無償化が現実のものとなり、さらなる保育需要の増大等、大きな変換のときを迎えようとしている。今後、子どもたちの環境整備について更なる検討を重ねていく。

\*ブラッシュアップ…一段と優れたものにする



## SDGsへの取り組みについて

**問** 三豊市としてSDGsにどのような取り組みをいくのか。

**答** 経済、社会そして環境の3側面における持続可能な開発を統合的取り組みとして推進するもの、地方の持続可能な開発、すなわち地方創生を推進するものと解されている。少子高齢化や人口減少問題の克服に向け、第2次総合計画においては6万3千500人プラスという人口目標を掲げこの実現に向け取り組む。国において募集のあったSDGs未来都市および自治体SDGsモデル事業の募集について、本市としても経済、社会、環境の3側面における新しい価値創造を通じて自律的好循環を生むための提案申請を行った。

**問** 働き方改革の着実な実施の観点からRPA導入について考えを聞く。

**答** RPAプロジェクトチームを設置し、導入に係る判定等を調査研究してきた。業務の一部をRPA化しても、高いコストパフォーマンスを生み出すことにはならないと判断をした。また、行政への申請に電子を利用した窓口拡大の検討を行い、ペーパーレス化にも積極的に取り組む。

徹底した省エネの推進、再エネの導入促進、循環型社会の構築を重点施策として進めてきた三豊市は環境都市宣言すべきではないか。

**問** 持続可能な開発目標の面から見ても、本市が有する環境に係るポテンシャルは非常に高いものであると認識している。優位性を十分に発揮しながら、持続可能な町を目指してまいりたい。

**答** 持続可能な開発目標の面から見ても、本市が有する環境に係るポテンシャルは非常に高いものであると認識している。優位性を十分に発揮しながら、持続可能な町を目指してまいりたい。



▲ SDGs ロゴ

## その他の質問

- スポーツ振興について
- 脳脊髄液減少症について
- 移動期日前投票所開設について
- 業務委託発注について



## 行政と自治会の関係について

**問** 行政と自治会の関係を明確化し、その上で今以上に適切な協体制度を築くためにも三豊市自治会連合会と協力協定等を結んではどうか。

**答** 市と自治会が連携強化に向けて基本的な事項について協定を締結することは、協働による取り組み強化の大きな一歩になる。自治会連合会と協議を始める。

## これからの観光への取り組みと観光交流局との関係について

**問** 今から市は観光に力を入れていくというが、そもそも市の考える観光とはどういうものか。また観光行政は総合行政と言われるぐらい多くの課が関わるもの。新しく設置される観光交流課はどこからどこまでを担当するのか。

**答** 観光振興の最大の目的は地域の効果が幅広い産業への生産波及効果や雇用の創出をもたらす。新設される観光交流課は観光に関わるものを集約するのではなく、関係部局と連携を密にし、情報発信や支援施策の検討を進める。

**問** なぜ観光交流課は観光交流局と同じような非常に紛らわしい名前にしたのか。

**答** 観光交流局は民間に近い組織に変換・変革していかねばならないと思っているが、まずは市と一体となって観光交流に取り組み、そこから観光交流局のあり方も検討していく。

**問** 地域おこし企業人制度で戦略的なマーケティングの為に人材を派遣いただくということだが、そのスキルは観光交流局のホームページにも使われるのか。

**答** 観光交流局のホームページは市の観光情報の発信源になっているので対応していく。



▲市の観光情報の発信源となっているという観光交流局のHP

## その他の質問

- デジタル図書館の導入について
- 一般質問等への答弁内容の対応・進捗状況の可視化について

※ SDGs…持続可能な開発目標の略

2015年に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標

※ RPA…ロボットによる業務自動化の取り組み



市川洋介  
議員



薬用作物について

**問** 薬用作物の栽培の具体的な取り組み、日本薬用機能性植物推進機構との連携、薬用作物の拠点整備と所管部署の関わり方、今後の展開についてを問う。

**答** 香川県西讃農業改良普及センターに指導いただきながら、市内でもミシマサイコについて少量の栽培を実施している。実証栽培において、三豊市の気候風土に適した作物を見極めて、栽培品目の選定、種苗の供給、協力農家への栽培指導などを同機構のアドバイスや提言により進めたいと考えている。今後は農林水産課が主体となり、中四国農政局香川支局や香川県西讃農業改良普及センターなど、関係機関とともに情報共有や御指導をいただきながら、農業所得の向上に結び付けていきたい。

A-1について

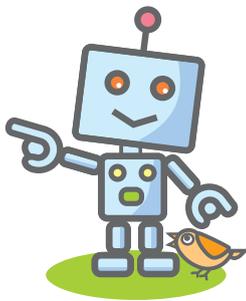
**問** 国内初の東京大学とのサテライト、民間企業や行政が抱える課題のA-1による解決策、周辺地

域や県内全国に波及させる方法、丸亀以西4市3町の広域連携協議会について問う。

**答** サテライトは、三豊市と松尾豊教授を社員とする一般社団法人が運営し、ここでは企業が抱える課題や地方が抱える産業、医療、福祉、教育、交通といった多方面でのA-1を用いた研究や実証を行うとともに、将来の日本を担うようなA-1人材の育成と輩出を目的として事業を展開していく予定である。多くの企業からA-1で課題解決した案件について問い合わせや相談をいただいております。それらのオーダーに対して同研究室のメンバーが企業訪問している。一日も早くサテライト発のA-1導入した商品を打ち出す必要がある。広域連携協議会は単一の自治体で取り組むより広域で課題を抽出し、専門部会を設け、調査研究する。

その他の質問

○生産労働人口について



高木 修  
議員



高齢者の運転免許証返納支援策の拡充について

**問** 31年度から福祉タクシー利用券の運用ルールが大きく改訂され、運転免許証を持っていないければ、70歳から制度が適用されることとなる。

**答** まず、コミュニティバス路線網とダイヤの充実については、運行開始から10年以上経過し、根付いてきた路線網の改編は困難。また、ダイヤもバス利用者の大半である学生の利便性を考慮している。ただ、見直しが可能なものについては考えて行きたいと思っております。

次に、自宅周辺でバ



▲コミュニティバス

イクのみを使うようなケースも含め、十分に協議していく。

道路保守メンテナンス体制の強化について

**問** 市民生活において、道路は最も重要なインフラの一つである。現状

**答** 道路は最も重要なインフラであり、市民の貴重な財産でもある。道路保守メンテナンス、また整備は市政にとっても重要な施策である。厳しい財政状況ではあるが、交付金、補助金、特例債等を活用しながら事業を推進していきたい。また、組織力の強化にも取り組み、技術力、知識を有する職員の育成、さらに、土木、建築などの技術専門職員に関しても、採用募集の継続を要望したいと考えている。



▲道路地図

※ミシマサイコ…セリ科の多年草で、根は生薬に使われる



## 三豊市の自主防災組織について

**問** 政府の地震調査委員会によれば、南海トラフを震源とする巨大地震の今後30年間の発生確率が70%から80%となっている。その時には、市民の生命や財産を守るには、自主防災組織である。三豊市の自主防災組織の組織化率と訓練の実施率はどのようになっているのか。

**答** 自主防災組織の組織化率は、平成30年12月現在で73・5%であり、また30年度の訓練の届け件数は18件である。実施自治会数は181件で、実施率は、33・7%となっている。今後発災直後の初動期は、公助が見込めない中、自助、共助の役割が非常に重要となってくる。

## 公共施設再配置等における提案公募型の財産処分について

**問** 三豊市では、平成25年に公共施設再配置計画、平成29年に公共施設等総合管理計画を策定し、必要な機能は維持しながらも、公共施設の数減らすとなっているが、昨年来議論していた提案公募型の財

産処分は今後どのようなようになっていくのか。

**答** 行政目的を終えた施設も基本的には市民の財産であり、今後、戦略的にプロポーザル方式を取り入れることも一つの手段として実施していきたい。

## 的場排水機場の現状について

**問** 的場排水機場にある3台のポンプのうち、2台については、修理が終わり、残る1台も、31年度に新機に交換することになっているが、それでも排水能力の不足分について、今後どのように考えているのか。

**答** 最近の台風、ゲリラ豪雨等の異常気象により、降水量も増加している。今後、調整池等の調査をして、ポンプ能力の更新を検討していく。



▲的場排水機場



## 市の組織、機構改革

**問** 公共施設の利活用の方針を問う。計画変更が多いが今後について。

**答** 本市は将来的には約半分の保有量にする目標である。施設の管理運営方法の見直しによる経費の削減に取り組む。

**問** 公共施設の再配置の効率と財政改善の効果、目標は何か。

**答** 公共施設等総合管理計画の期間、令和7年までに達成に向かい、着実に進める。特別債については、現在達成率50%強、積極的に活用するが将来世代の負担にならないよう、計画する。

**問** 職員の努力が報われる組織、市民の声が市政に反映される組織か。

**答** 部署内の連携強化と専門職、人材育成、定員の適正化による組織強化を図る。組織力向上のため、現場対応の再編で強化、効率を図る。

## 企業振興と働く場の確保について、人口減少対策

**問** 工業用水の確保の見通しは。

**答** 現状では水源確保は確定してないので、今後水源の確保に注力していく。

**問** 内陸部の企業に対する工業用水について。

**答** 企業による井戸掘削に対して補助し、支援するが、水量確保が難しい場合、上水道での対応も視野に入れ、支援施策を研究していく。

**問** インフラ整備に特別債の活用計画を加速しないと手遅れになるが見解を問う。

**答** 水源が確定すれば事業見通しが明らかになるので、できるだけ早く工業用水を供給できるよう、取り組んでいく。



▲中山間の未来は？

## 市立病院建設計画について

**問** 人口減少加速の中での市立病院2力所の将来展望は。

**答** 両病院の医療機能は分化している。市民の必要性の高い診療科は不採算部門でも開設が必要。医師会、民間病院連携の強化を図る。

**問** 場所での病院の将来が決まる。防炎面、市民病院の認識を問う。

**答** 緊急性や、医療機関のバランス等々総合的に判断した。市民に、自分たちの病院という意識を持っていただけるような頼られる病院を目指す。

**問** 規模、病床、医師確保等経営的問題はないか。

**答** NPO法人病院経営支援機構の指導で問題対応。地域連携室等、院内組織の強化に取り組む。



金子辰男  
議員



**デジタル移動系防災行政無線整備について**

**問** 整備に至った経緯、整備内容、整備後の活用方法、効果を聞く。

**答** アナログ移動系無線は、旧7町が異なった周波数であり、相互連絡ができない。大規模災害時に通信の役割は非常に重要なため、市内3カ所に基地局を設置し、整備する。整備後は消防団の利用はもとより、情報収集、命令伝達的手段として市民の安全を図る上で、重要である。

**韓国ヨイド中学校、韓国慶尚南道ハプチョン郡との交流について**

**問** 県下で唯一、韓国自治体と姉妹都市交流を行っているが、その始まりや現在の交流状況を聞く。

**答** 平成6年にハプチョン郡の農業視察団が高瀬町を訪問し、姉妹都市提携を行い、相互受け入れ、イベント参加で交流し、友好の絆を築いてきた。

**問** 日本と韓国の近・現代史の認識の違いが歴然としている。子どもたちの国際的な人材育成のための教育について、三豊市はどう取り組むのか。

**答** 国際理解教育の一環として国際交流を通じて、互いの国の生活や文化、ものの考え方などの違いを実感し、理解させる。いかに共生できるか。柔らかな感性を持つ時期の子どもたちの関わりがよりよい友好関係につながっていくことを期待している。



**文書館、公文書管理について**

**問** 旧山本庁舎利用の文書館であるが、老朽化のための雨漏りは改善したのか。

**答** 都度都度の対応となっている。来年度は不具合の対策を実施し、快適な閲覧環境と文書の安全な保存環境を確保したい。

**問** 文書館行事の現状と今後は。

**答** 春、夏、秋の年3回の企画展、出張展示、体験講座を開催していく。文書のデジタル化への取り組みや存在する文書整理も行っていく。



岩田秀樹  
議員



**10連休における、保育所、学童保育など子育て環境の対応について**

**問** 4月27日から5月6日までの上では、最長の10連休となった。子育て世代の親は、全ての世帯で10連休に対応して休日になっている状況ではない。

**答** この期間、休日でない家庭において保育、学童保育が受けられるような取り組みはできないか。

**問** 休日等に普段から保育を必要としている方々について、今のところそのニーズは特に確認していない。今般の10連休限りの保育ニーズの要望があれば、検討する必要もあるが、この時期やっ



▲市内保育所運動会の風景

と新しい環境に慣れたところになる。よって特段の対応は行わない方針とする。

**妊婦さんを対象にしたタクシー券の交付の検討について**

**問** 福祉タクシー券の取り組みが変更されようとしている。

**答** 新たに、妊婦さんを対象にしたタクシー券の交付を求めるものである。子どもを生み育てる母親を守る視点から、妊婦さんに対するタクシー券補助を高年齢と同様実施するべきであると考えます。

**問** 母子手帳交付の際には、標準的な妊婦健康診査として14回の定期的な妊婦健康診査を受けるよう受診勧奨をしている。三豊市においてはほとんどの妊婦さんが自家用車で通院していると思われる。

妊婦さんを対象としたタクシー券補助の取り組みについては、妊娠期や産後の母体への負担や経済的負担を軽減し、出産・子育てを支援するという目的においては有意義である。

妊婦健診時や31年度から始まる産婦健診時および陣痛などの緊急時等、さまざまな利用機会があるので、タクシー会社の受け入れ体制を始め、タクシー券制度の在り方や財源の確保も含めて、検討したい。



# 委員会審査

3月定例会では、各委員会に議案が付託され、その審査の経過や結果が、本会議で報告されました。委員会での審査内容を掲載します。

## 総務常任委員会

3月1日開催の総務常任委員会には16議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 30年度一般会計補正予算関係部分

**問** 廃車になったコミュニケーションバス4台を売却したとのことであるが、その経緯と内訳は。

**答** 廃車の4台を公募による入札で売却した。国外に輸出する業者が参入することで高額の取引になったと考えている。

**問** 運転免許自主返納報償金の最終的な見込み人数はどれくらいになるのか。

**答** 今回の補正は90人分だが、最終的には390人程度の決算になる見込みである。

#### 企業立地促進条例の一部改正

**問** この条例により、宿泊施設の誘致にも力を入れるということか。

**答** 宿泊施設の誘致にも積極的に取り組みたい。

#### 父母ヶ浜海水浴場施設条例の一部改正

**問** 駐車場は有料になるということか。

**答** 中型バスと大型バスの駐車料金の上限を変更したということだ。

**問** 駐車料金を徴収するかどうかは指定管理者が決定するということか。

**答** 普通自動車については、今回徴収しない方向であり、大型バス、中型バスは徴収する予定であるということを確認している。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、承認・可決した。



▲父母ヶ浜の駐車場

## 市民建設常任委員会

3月5日開催の市民建設常任委員会には10議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 30年度一般会計補正予算関係部分

**問** 市のたばこ税が減額になったのは、初めの見込みが高かったのか。また、たばこの消費が少なくなったということか。

**答** たばこ税については毎年微減状態であり、ここ数年の状況を見ながら当初予算を組んでいる。喫煙環境が厳しくなったこともあり、減少カーブがきつくなったと考えられる。

**問** 繰越明許費の原因は、業者の能力の限界ということか、それとも災害等の発生により全体のボリュームが増えたからか。

**答** 7月豪雨や台風等で、災害など緊急の事業が増えたことや、建設業における慢性的な技術者不足、資材の遅れによる工事の遅延や、国や県の認可のための手続きなど、さまざま要因によって、繰越金が多くなったと考えている。

**問** 会計検査院の指摘による災害復旧費雑入の補正について、業者の責任はどのようになっているのか。

**答** 計上している300万円については、設計業者が負担することになっている。



▲会計検査院より設計の強度不足が指摘されたため池改修工事

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。

## 教育民生常任委員会

3月4日開催の教育民生常任委員会には12議案が付託され審査した。

### 主な質疑と答弁

#### 30年度一般会計補正予算関係部分

**問** 介護保険費の離島サービスは80万円の減額である。離島の訪問サービスの現状を伺う。

**答** 訪問介護サービスの利用者は粟島4人、志々島1人。利用者の死亡や入院、施設入所により昨年度から半減し、減額となった。

#### 市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

**問** 災害援護資金の貸付利率は保証人を立てる場合は無利子で、保証人を立てない場合、年3%から1%に改正するというものだが、保証人を立てない場合も無利子にしてはどうか。

**答** 1%なら借りやすいと判断した。保証人を立てず無利子とすると、回収が困難だったり、借りた方が全額償還したか否かにかかわらず、償還期限が来た場合、市が県に対し貸付金の残額全てを返還しなければならぬ、ということから1%と決定した。

#### 地域子育て支援センター条例の一部改正

**問** 高瀬地域子育て支援センターは老朽化により緑ヶ丘総合体育館内に移転するが、跡地利用については。また、いつまで使用の予定か。

**答** 現支援センターの跡地利用については白紙である。体育館の使用期間は新センターが出来るまでである。新しい支援センターの場所は市役所周辺整備計画に基づき、これから検討に入る。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。



※繰越明許費…経費の性質や予算成立後のなんらかの理由で、その年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できる

## 三豊市 議会報告会 開催日程

### 議員一同、お待ちしております!!!

今年も議会報告会を開催します。  
今年度予算等をご報告した後、  
皆さまからのご質問やご意見を伺います。



町	小学校区	日 時	開催場所	出席議員
高瀬町	上高瀬	6月 1日(土) 19:00～	上高瀬公民館	金子 辰男 坂口 晃一 市川 洋介 田中 達也
	勝間	5月11日(土) 19:00～	勝間公民館	
	比地	5月12日(日) 19:00～	比地二公民館	
	二ノ宮	5月16日(木) 19:00～	二ノ宮公民館	
	麻	5月26日(日) 19:00～	麻公民館	
山本町	神田	5月13日(月) 19:00～	神田定住促進センター	横山 強 瀧本 文子 丸戸 研二 高木 修
	辻	5月14日(火) 19:00～	辻公民館	
	河内	5月15日(水) 19:00～	河内農村婦人の家	
	大野	5月16日(木) 19:00～	財田大野農業構造改善センター	
三野町	大見	5月14日(火) 19:00～	大見公民館	三木 秀樹 城中 利文 石井 勢三 近藤 武
	下高瀬	5月18日(土) 19:00～	三野町社会福祉センター	
	吉津	5月15日(水) 19:00～	吉津公民館	
豊中町	桑山	5月16日(木) 19:00～	豊中町公民館桑山分館	岩田 秀樹 川北 善伴 込山 文吉 湯口 新
	比地大	5月17日(金) 19:00～	豊中町公民館比地大分館	
	笠田	5月13日(月) 19:00～	豊中町公民館笠田分館	
	上高野	5月14日(火) 19:00～	上高野文化センター	
	本山	5月15日(水) 19:00～	豊中町公民館本山分館	
詫間町	松崎	5月14日(火) 19:00～	松崎コミュニティセンター	為広 員史 三宅 静雄 西山 彰人 水本真奈美
	詫間	5月13日(月) 19:00～	マリンウェーブ	
	大浜	5月15日(水) 19:00～	荘内浦島出張所	
	箱	5月16日(木) 19:00～	箱浦ビジターハウス	
	粟島	5月18日(土) 14:00～	粟島総合開発センター	
仁尾町	仁尾	5月22日(水) 19:00～	仁尾町文化会館	三木 秀樹 城中 利文 石井 勢三 近藤 武
	曾保	5月21日(火) 19:00～	曾保小学校体育館	
財田町	財田上	5月17日(金) 19:00～	財田町公民館	横山 強 瀧本 文子 丸戸 研二 高木 修
	財田中	5月18日(土) 19:00～	財田B&G海洋センター	

# 学校紹介

## 高瀬中学校



RESTART!!  
やってみよう

新たな挑戦

高瀬中学校は、平成18年に新校舎が完成し、充実した学習環境が整っています。また、部活動や生徒会活動も盛んで、「発見・判断・工夫」をモットーに、自ら求めて学ぶ、心豊かな生徒を目指し、日々楽しい学校生活を送っています。

”RESTART!! やってみよう 新たな挑戦”



▲応援プロジェクトチーム



▲体育祭での全校“FREEDOM”

昨年度から、たから高中生は新たな一歩を踏み出しました。各行事を生徒プロジェクトチームが中心となって企画・運営する、新方式が発動したのです。最初は、このような初めての挑戦に、失敗を恐れるあまり不安ばかりがつのり、何を目指すべきかさえ分かりませんでした。そんな私たちが多くのプロジェクトを立ち上げ、自信をもって頑張ることが出来たのは、お互いへの信頼があったからで

す。常に私たちのことを思い、的確なアドバイスをしてくださった先生方や、新たな道を共に全力で走り続けてきた仲間達に、心から感謝しています。

チャレンジしてみようと思っ  
思う気持ちが一番大切であり、どんな失敗も新たな道を築く上で、重要な一つの糧になっているのだということと、ただ不可能だと諦める前に、何か行動を起こして成功につなげようとする

ことを、そんな嵐にもまれるような体験を通して学びました。この一年、今までのなかま高瀬中学校のルールから外れて、自らの道を歩んできた

と自負する私たちは大いに成長し、飛躍しました。これからも物事に真剣に向き合い、きらきらとした一人ひとりの笑顔が輝く、「そんなじよそこらにない」最高の高瀬中学校に進歩していきます！

### 編集後記

春は入学式、また社会人として新たな一歩を踏み出された方も沢山おられることでしょう。日差しも暖かく、心地よい風に眠気と戦っている方も多いと思います。

後は少し私たちと一緒に市政のことを話し合いませんか？出来るだけ多くの方に会いしたいと思います。それでは「議会報告会」でお待ちしております。

(近藤)

#### 議会広報委員会

- 委員長 市川 洋介
- 副委員長 石井 勢三
- 委員 岩田 秀樹
- 委員 込山 文吉
- 委員 湯口 新
- 委員 高木 修
- 委員 近藤 武



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。



発行・編集

三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1  
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp